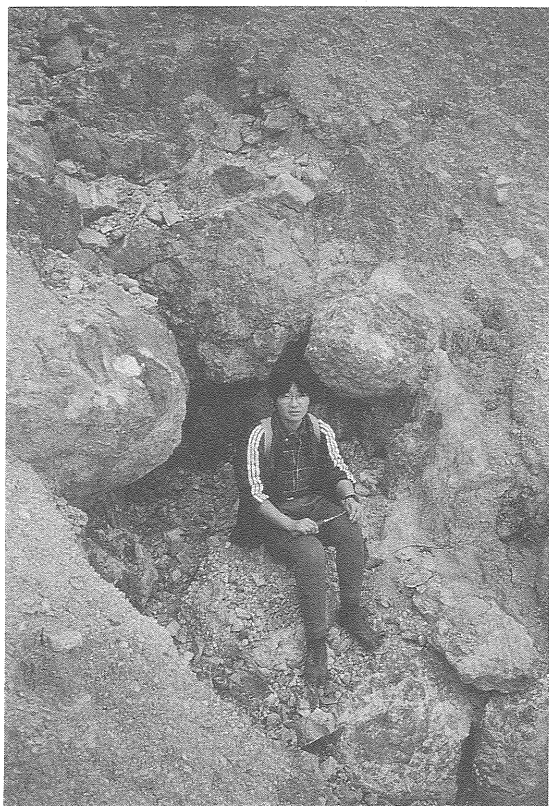


私の推薦する天然記念物

ぶつとういし ぶどう
仏頭石(葡萄石)

長野市安茂里^{あもりこいち}小市。長野市街の西南で、犀川沿いに真白な^{すまばな}裾花凝灰岩層(中新世後期の小川層最下部)が崖をつくって露出する。小市の国道19号線のロックシェルターの上の崖に流紋岩溶岩流が露出し、その空隙に、石英、長石、ガラスなどからなる2~3cm(最大5cm)の平たくつぶれた球顆が密集し、表面がブドウの房のようにみえることから葡萄石と呼ばれる。しかし、それらの中で大きなものは径30cm(最大70cm)に及ぶものがあり、人頭大のものが多いところは仏頭石と呼ばれ、風化面に団塊状に突出している(写真)。表面は白~灰白色の魚卵状であるが、密につまった球状体の産状は特異である。

(信州大学 河内晋平・山田哲雄)



文 献

加藤碩一・赤羽貞幸(1980):長野地域の地質,地域地質研究報告(5万分の1地質図幅).地質調査所,120頁.

河内晋平・松本佐知子・賀川陽子(1992):裾花ハイアロクラスタイト(1).惑星関連学会合同大会火山学会固有セッション演旨,55.

八木貞助・八木健三(1958):上水内郡地質誌.長野県上水内教育会,480頁.

正 誤 表

本誌1992年5月号(453号)に掲載された筆者の一人山田の「中部地方の天然記念物」に下記の誤りがありました。お詫びし、この場を借りて訂正させていただきます。

(山田哲雄)

頁 列	行	誤	正
38右	下から3行	球状石灰岩	球状石灰石
39右	下から7行	ハチノスサンゴ ・床板サンゴ	床板サンゴ(ハチ ノスサンゴ,日 石サンゴなど)
〃	下から2行	貝形類	介形虫
〃	下から1行	飛騨自然館	ひだ自然館

40左	5行	福地化石館	ひだ自然館
〃	下から6行	加兒町	可兒町
〃	下から5行	根尾村	本巣町
40右	下から13行	山の上町金屋 字四条理	山之上町金谷 字四条里
〃	下から11行	凝灰質砂岩	凝灰角礫岩
41左	3行	愛知県北	愛知県北部
43左	16行	中新生	中新統
〃	21行	凝灰石	凝灰岩
44左	下から7行	屋根	尾根
50左	3行	西側	両側